

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事: 柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樫の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2017 June 14

■ 2016～2017年度方針
ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.44

例会報告

●第2177回例会 平成29年6月14日(水) 晴

●6月はロータリー親睦活動月間

●あじさい夜間例会

18:00～ ウェスティンナゴヤキャッスル

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 100 名中 出席68名
(90)

出席率75.56% 修正出席率86.21%
(5月31日分)

●ビジター紹介 (お昼のビジター受付)

平野 貴久君 (豊橋ゴールデンRC) 外53名

●ニコボックス

「あじさい夜間例会を楽しく過ごしましょう!!」

宮下幸二郎君、高木一平君、服部 滋君

亀井敏勝君、今井明雄君、黒田史郎君

桑山卓也君、内間三好君、浅野 洋君

林 邦司君、岩田玄知君、野崎敏夫君

安井隆豊君、稲川 久訓、小南速雄君

武藤 博君、千住憲夫君、平木聖三君

福田哲三君、上野山 進君、松原忠久君

大森和仁君、山村博伸君、槇野智之君

田中正次君、加治佐健二君、久保哲政君

相羽繁生君、足立吉正君、加藤寿彦君

亀谷喜敬君、久保和彦君、花橋日出夫君

横井辰幸君、吉田正道君、蜂須賀太郎君

小林利之君、山本秀樹君、富島照男君

佐藤公俊君、谷 喜久郎君、小松佳史君

夏目 稔君、マスキリ・ニート君、丸山弘昭君

「45周年記念ゴルフ会で、はからずも優勝しました。」
安井信之君

「先週の45周年記念ゴルフワンの会で優勝することができました！一緒にまわって頂いた宮下さん、松原さん、横井さんありがとうございました！とても平和で、和やかな組だったので良いスコアが出たと思います。」
山本秀樹君

「"モリ、だの"カケ、だのと安物の蕎麦屋のような、不愉快極まりない話題が、世間を騒がしています。少し文章にしておきました。」
鷲塚貞長君

「母の葬儀の際、ご弔意を賜りありがとうございました。」
加藤智弘君

本日のニコボックス	6件	104,000円
累計	156件	1,658,100円

柏木博喜幹事報告

▽名古屋城北ロータリークラブのビジターフィ改訂のご案内

現在 3,500円→改訂後 4,000円になります。

※改訂ビジターフィは2017年7月4日より適用されます。

▽当クラブ行事予定

- ・6月28日(水) 新旧理事会を開催致します。
場所はか茂免です。
17時～ 今年度
17時30分～ 次年度
18時～ 懇親会

※今年度と次年度の理事及び役員のご出席をお願い致します。

- ・7月12日(水) 納涼夜間例会を開催致します。
時間は18時～、場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※お昼の例会はございません。

※出席100%の表彰を行います。

高木一平会長挨拶



“出席義務についての考察”

ロータリーの三大義務の一つに出席義務があります。ホームクラブへの例会出席はもちろん、出席できないときはメイクアップをすることは、全てのロータリアンが守るべきこととされています。

ロータリーはなぜこれほど出席をやかましく言うのか、なぜ出席が大切なのか、私なりに考えてみました。

まず一般論として、ある意義のある会合があり、その意義に賛同する人が呼ばれた場合、出席することは当たり前のことです。もし全員が、私だけなら出席しなくてもいいだろうと思った瞬間、その会合は消滅します。つまりロータリーの例会が意義ある会合だと思えば出席すべきなのです。もちろんやむを得ない事情があるときは別ですが、自分だけなら出なくてもいいと思うのは奢りであり、エゴイズムです。

次にロータリーという特殊な環境に限って、出席の意味を考えてみます。ロータリーは単年度の政権交代で年間50回近くの例会があります。2週に一度のライオンズなどと違って毎週例会があることは、会員にとってやや負担が大きいです。しかしこれには単年度毎の事業を速やかに且つ細やかに遂行する意味合いがあると思うのです。年度毎の方針を確実に具現化する為に25回ではなく50回集まるのだと考えれば、出席がいかに重要な意義を持つか分かります。

さらに親睦を深めるという観点からも出席は重要です。特に新入会員は毎週の例会で急速に仲間に認知され、組織に溶け込むことが出来ます。こうして早くから重要な戦力として働くことが出来るのです。

こう考えてみると出席は確かに義務ですが、それ以前にクラブの発展のためであり、親睦を深めるためでもあり、ロータリアン一人一人の成長にとって無くてはならないことです。かつて米山梅吉翁がいわれたように例会は人生道場なのです。

忙しいから欠席するのではなく、忙しいからこそ時間をやりくりして何とか出席するのです。そうやって得た貴重なロータリーの時間は何にも代え難い有意義なものになるはずです。

卓話（新入会員自己紹介）



●山下寛高

昨年9月、田中正次さん、山村博伸さんにご推薦をいただき、和合ロータリーに入会をさせていただきました山下寛高です。皆さま、宜しく御願いたします。

私は昭和46年に名古屋市西区で生まれ、今年46歳になります。

仕事は清須市にてクレイン工芸社という看板の製作施工会社を営んでおります。

代理店、ゼネコン、多店舗展開企業様等をお客様として下請業務に徹しております。まだまだ未熟な会社ですので経営につきましても、今後、皆様からいろいろと教えていただければ幸いです。

また、私が大切にしている生き方は「一所懸命」です。

私が思う「一所」とは「今の、この瞬間」を後悔しないように全力で取り組む事です。

時にはこの生き方がぶれる事があるかもしれませんが「結果や評価を求める事なく、ただただ全力かどうか」を自問自答しながら生きていきたいと思えます。

こんな男では御座いますが、皆さま、末永く、宜しく御願いたします。



例会	月日	今後の予定
第2178回	6.21	(一財)日本グラウンドワーク協会 理事長 竹谷 裕之氏 『右手にスコップ左手に缶ビール』 グラウンドワーク活動について
第2179回	6.28	高木 一平会長 「一年をふりかえって」
第2180回	7.5	加藤一郎新会長挨拶
第2181回	7.12	納涼夜間例会 18:00～ ウェスティンナゴヤキャッスル (お昼の例会はございません)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。